
サイバーセキュリティクラウド、TWOSTONE&Sonsグループの TWOSTONE Syncと業務提携を開始

TWOSTONE Syncが「攻撃遮断くん」等の提供を開始、
両社の人材ネットワークと専門知見を掛け合わせWebセキュリティの運用・定着を支援

グローバルセキュリティメーカーの株式会社サイバーセキュリティクラウド（本社：東京都品川区、代表取締役社長兼CEO：小池敏弘、以下「当社」）は、株式会社TWOSTONE&Sons（以下「TWOSTONE&Sons」）のグループ会社である株式会社TWOSTONE Sync（本社：東京都渋谷区、代表取締役CEO：宮崎 晃成、以下「TWOSTONE Sync」）と業務提携したことをお知らせいたします。



本提携により、TWOSTONE Syncはクラウド型WAF「攻撃遮断くん」をはじめとするWebセキュリティサービスの提供を開始いたします。また、当社が有するセキュリティ製品・専門知見とTWOSTONE&Sonsグループが有するIT人材ネットワークと、顧客企業のWebセキュリティ対策の導入から継続的な運用までを支援してまいります。

今回の業務提携では、TWOSTONE Syncはこれらのサービスを、企業の事業戦略・セキュリティ方針の策定から導入、運用の定着まで含めてひとつの窓口でご提供します。当社がセキュリティ製品の提供と技術支援を、TWOSTONE Syncが顧客企業の課題整理・方針策定・サービス選定・定着支援を担います。さらに、当社の専門知見・技術と、TWOSTONE&SonsグループのIT人材ネットワークを掛け合わせることで、顧客企業の多様なセキュリティ課題に対応し、Webセキュリティの継続的な運用を支援してまいります。

【報道関係者各位の問い合わせ先】

株式会社サイバーセキュリティクラウド 広報：井野部 Mobile：080-4486-0029

TEL：03-6416-9996 E-Mail：pr@cscloud.co.jp FAX：03-6416-9997

■ 背景：事業を支えるWeb・クラウド環境には、継続的なセキュリティ対策が必要

① AIの悪用や脆弱性を狙う攻撃に備え、対策を継続する重要性が高まる

Webサイトやクラウド上のサービスは、重要な事業基盤となっています。一方、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）の「情報セキュリティ10大脅威 2026」では、組織向けの脅威として「AIの利用をめぐるサイバーリスク」が初選出で第3位、「システムの脆弱性を悪用した攻撃」が第4位に位置づけられています（※1）。こうした脅威に備えるには、脆弱性や設定不備など、自社のシステムに潜むリスクを把握し、優先度に応じて対策を講じることが重要です。ソフトウェアの更新・改修によって脆弱性を解消するとともに、WAFによる攻撃の検知・遮断やクラウド環境の設定の見直しを組み合わせ、変化する脅威やシステム環境に合わせて対策を継続することが求められます。

② 製品の導入に加え、運用を続けられる体制づくりが課題

セキュリティ対策は、製品を導入すれば完了するものではありません。導入後も、WAFの検知状況の確認や必要に応じたルール調整、新たな脆弱性情報への対応、システムの変更に伴う設定の見直しなどが必要です。一方、サイバーセキュリティ人材は国内で約11万人不足しているとされ（※2）、専門人材や運用に充てる時間の不足は、企業がセキュリティ対策を継続するうえでの課題となります。

当社はこれまで、WAFの自動運用やフルマネージドサービスを通じて、セキュリティ人材が限られる企業でも運用を継続できる仕組みづくりに取り組んできました。今回、Securityを重点領域の一つに置き、顧客企業の現場に入り込んで戦略立案から実行・定着まで伴走するTWOSTONE Syncと連携することで、セキュリティ方針の策定段階から当社サービスを届け、運用が定着するところまで支援できる体制を整えます。

※1：IPA（独立行政法人情報処理推進機構）の「『情報セキュリティ10大脅威2026』解説書〔組織編〕」（https://www.ipa.go.jp/security/10threats/omgdc50000008f8-att/kaisetsu_2026_soshiki.pdf）より

※2：経済産業省「サイバーセキュリティ人材の育成促進に向けた検討会」最終取りまとめ（2025年5月）（<https://www.meti.go.jp/files/900017551.pdf>）にて引用される民間調査（2023年）に基づく推計

■ 代表者コメント

株式会社TWOSTONE Sync 代表取締役CEO 宮崎 晃成氏

【報道関係者各位の問い合わせ先】

株式会社サイバーセキュリティクラウド 広報：井野部 Mobile：080-4486-0029

TEL：03-6416-9996 E-Mail：pr@cscloud.co.jp FAX：03-6416-9997

株式会社サイバーセキュリティクラウド

戦略は、実行され利益につながって初めて意味を持ちます。セキュリティも同じで、方針を描くだけでは守れません。サイバーセキュリティクラウドの実績あるプロダクトと運用ノウハウを組み合わせることで、お客様の守りを「絵」ではなく「仕組み」として定着させるご支援ができるようになります。当社はSecurityを重点領域の一つに置き、お客様が安心して事業を前に進められるよう、両社で取り組んでまいります。

株式会社サイバーセキュリティクラウド 代表取締役社長 兼 CEO 小池 敏弘

セキュリティは、お客様が安心して新たな挑戦を続けるための事業基盤です。その価値を十分に発揮するには、製品の導入にとどまらず、お客様の事業や現場に即した運用へとつながることが重要だと考えています。今回の提携では、当社が培ってきたセキュリティ技術・専門知見と、TWOSTONE Syncの戦略立案から実行・定着まで伴走する力、そしてTWOSTONE&SonsグループのIT人材ネットワークを組み合わせることで、より多くの企業に継続的な安心を届けてまいります。両社の強みを生かし、お客様がセキュリティ上の不安に足を止めることなく、事業の成長に取り組める環境づくりを支援してまいります。

■株式会社TWOSTONE Syncについて

TWOSTONE&Sonsグループにおいて、経営課題から取り組むべきテーマを整理し、戦略立案から実行・定着まで伴走するコンサルティング事業を展開。「Sustainability」「Security」「新規事業創造×AX」「Sales Transformation」の4領域を中心に、クライアント企業の現場に入り込み、社員とともにプロジェクトを推進しながら、実践を通じてノウハウやスキルを移転することで、企業が継続的に成果・利益を生み出せる状態を支援します。社名の「Sync」には、資料を納品して終わりではなく、クライアントにノウハウを定着させるという意味を込めています。詳しくは、TWOSTONESyncコーポレートサイト (<https://ts-sync.co.jp/>) をご覧ください。

■株式会社TWOSTONE&Sonsについて

【報道関係者各位の問い合わせ先】

株式会社サイバーセキュリティクラウド 広報：井野部 Mobile：080-4486-0029

TEL：03-6416-9996 E-Mail：pr@cscloud.co.jp FAX：03-6416-9997

株式会社サイバーセキュリティクラウド

エンジニアプラットフォーム事業を中心に様々なソリューションサービスを提供するホールディングカンパニー。2013年株式会社BrandingEngineerとして創業、2020年7月7日に東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場、証券コード：7352）へ新規上場。2023年6月1日に「株式会社TWOSTONE&Sons（ツーストーンアンドサンズ）」に社名変更し、ホールディングス体制へと移行。グループ全体で幅広い事業を展開し、世の中の社会課題を解決する事業集団として社会に貢献してまいります。詳しくは、TWOSTONE&Sonsコーポレートサイト（<https://twostone-s.com/>）をご覧ください。

■株式会社サイバーセキュリティクラウドについて（<https://www.cscloud.co.jp/>）

「世界中の人々が安心安全に使えるサイバー空間を創造する」をミッションに掲げ、世界有数のサイバー脅威インテリジェンスを駆使したWebアプリケーションのセキュリティサービスを軸に、脆弱性情報収集・管理ツールやクラウド環境のフルマネージドセキュリティサービスを提供している日本発のセキュリティメーカーです。私たちはサイバーセキュリティにおけるグローバルカンパニーの1つとして、サイバーセキュリティに関する社会課題を解決し、社会への付加価値提供に貢献してまいります。

【報道関係者各位の問い合わせ先】

株式会社サイバーセキュリティクラウド 広報：井野部 Mobile：080-4486-0029

TEL：03-6416-9996 E-Mail：pr@cscloud.co.jp FAX：03-6416-9997